

都市再生整備計画 事後評価シート  
岡山駅東口地区

令和5年3月

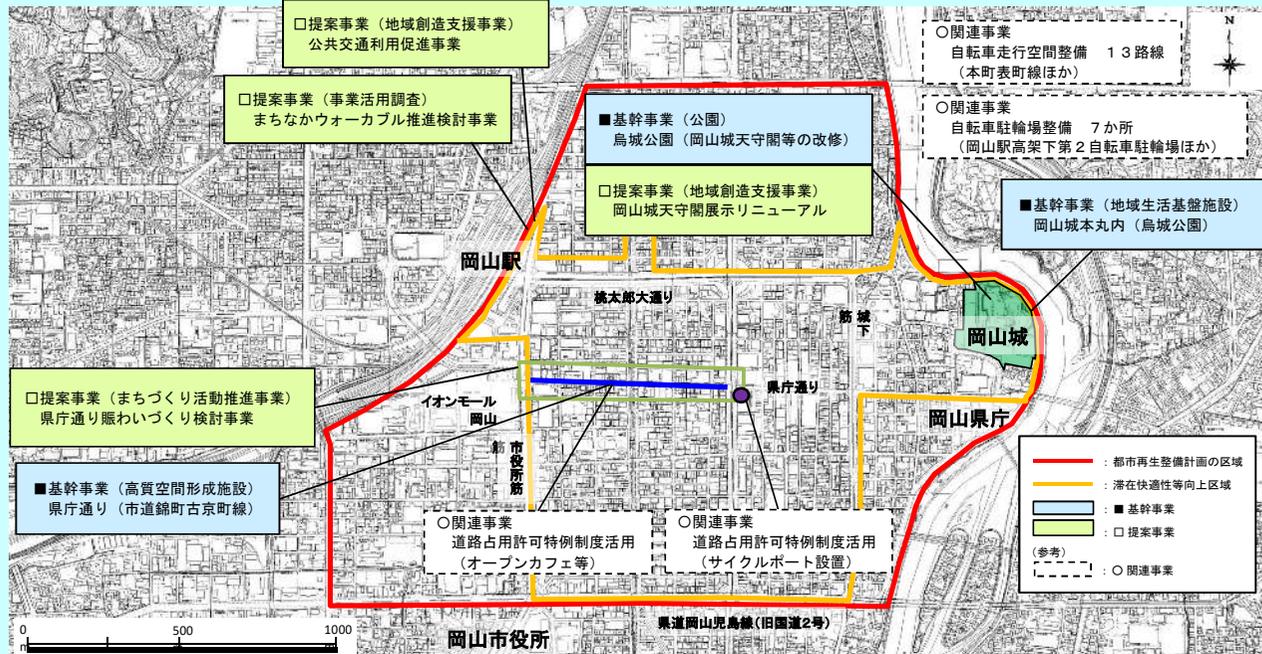
岡山県岡山市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岡山県		市町村名	岡山市		地区名	岡山駅東口地区			面積	327.0ha	
交付期間	令和2年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和4年度		交付対象事業費	1.734百万円	国費率	0.496			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
新たに追加した事業	基幹事業	公園・岡山城天守閣等の改修(体験学習施設) 高質空間形成施設整備:県庁通り整備事業(緑化施設等) 地域生活基盤施設整備:岡山城本丸内バリアフリー化等事業(広場)				歩いて楽しい魅力ある都心空間を創出し、まちなかの魅力と回遊性向上を目指すため			指標7～9の効果が新たに期待される			
	提案事業	地域創造支援事業:岡山城天守閣展示リニューアル、公共交通利用促進事業 事業活用調査:まちなかウォーカーブル推進検討事業 まちづくり活動支援:県庁通り賑わいづくり検討事業				歩いて楽しい魅力ある都心空間を創出し、まちなかの魅力と回遊性向上を目指すため			指標7～9の効果が新たに期待される			
交付期間の変更	当初	-		令和2年度～令和3年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		次期計画の岡山都心地区を策定し、継続的に事業を実施				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	コミュニティサイクル利用回数(回転率)	回/台・日	0.22	H23	1.00	R3	2.78	○	あり なし	サイクルポートを中心市街地の回遊性向上に繋がる場所に配置するなど、利便性向上に努めた結果と考えられる。	
	指標2	自転車関連事故件数	件	1,620	H23	800	R3	502	○	あり なし	関係機関と連携し、自転車の通行ルールやマナーの周知及び順守徹底を図った結果である。	
	指標3	自転車の走りやすさに対する満足度	%	29.5	H23	50.0	R3	26.9	×	あり なし	従前値よりも下回っており、これは自転車通行空間の連続性が確保できなかったことが要因と考えられる。	
	指標4	放置自転車台数	台	5,691	H21	2,800	R3	1,749	○	あり なし	駐輪需要に応じた駐輪施設の整備・拡充や放置禁止区域の拡大などの、総合的な駐輪施策を講じた効果ととらえている。	
	指標5	駐輪しやすさに対する満足度	%	10.1	H23	50.0	R3	17.0	△	あり なし	総合的な駐輪場の整備等により、従前値よりは約7ポイント増加しており、一定の効果が認められる。	
	指標6	自転車利用環境等の総合満足度	%	10.1	H23	50.0	R3	17.4	△	あり なし	サインや駐輪場の整備、コミュニティサイクルの充実等により、従前値よりは約7ポイント増加しており、一定の効果が認められる。	
	指標7	県庁通りの歩行者通行量	人/9h	4,236	H28	6,000	R3	3,963	△	あり なし	平成30年には5500人となり大きく増加したが、新型コロナウイルスの発生により外出が自粛されたため、目標に達していない。	令和5年度
	指標8	県庁通り沿道店舗新規出店数	店舗	0	R1	5	R3	10	○	あり なし	車中から人中心の道路空間が生まれ、沿道事業者等地域の方と連携し魅力創出に取り組んできた結果と考えられる。	
	指標9	岡山城天守閣入場者数	人	327,551	H30	410,000	R5	-	△	あり なし	リニューアルオープンが令和4年11月のため数値は未計測であるが、平成30年11月から令和4年11月の伸び率は大きく、目標値は達成する見込みである。	令和6年度
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	「自転車先進都市おかやま実行戦略」の策定に際して、市民や学識者・自転車関係団体等から意見を聴取し、整理。 毎月1回、様々な分野の話題提供者を招き、持続可能な社会づくりのための対話の場としてESDカフェを開催。 ESDウィークでの自主企画の実施のため、創造ワークショップを実施。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○ ・今後も計画策定時などはパブリックコメント等で市民の意見を聴く。 ・ESDカフェは、毎月1回程度の頻度で今後も継続していく。	
持続的なまちづくり体制の構築	「フラワーポット」に地元市民や企業による草花の植え付け、水やり等の管理を実施。 ・市民提案協働事業として「緑と水の道」整備を実施。 ・市民主体の実行委員会を設立・西川緑道公園筋歩行者天国の定期開催により、魅力とにぎわいのある中心市街地を創出。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○ ・持続的な運営に向けて、まちづくりのプレイヤーの発掘や育成、また運営資金の確保に取り組む。 ・新型コロナウイルスの影響で開催が困難な時期もあった。今後の状況も考慮しつつ、企画内容や開催方法の検討を行う。		

## 様式2-2 地区の概要

岡山駅東口地区(岡山県岡山市) 都市再生整備計画事業の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 自転車先進都市おかやまの実現と魅力・賑わいのある中心市街地の創出 目標1: 「走る」「停める」「使う」「楽しむ」「学ぶ」という5つの施策分野が、相互の連関のもと、高い水準で調和させる 目標2: “自転車”が街の風景として溶け込み、市民が『自転車先進都市』を実感し、認識を共有し、また先進都市市民として実践する 目標3: 歩いて楽しい魅力ある都心空間を創出し、まちなかの魅力と回遊性向上を目指す	コミュニティサイクル利用回数(回転率)	回/台・日	0.22 H23	1.00 R3	2.78 R3
	自転車関連事故件数	件	1,620 H23	800 R3	502 R3
	自転車の走りやすさに対する満足度	%	29.5 H23	50.0 R3	26.9 R3
	放置自転車台数	台	5,691 H21	2,800 R3	1,749 R3
	駐輪しやすさに対する満足度	%	10.1 H23	50.0 R3	17.0 R3
	自転車利用環境等の総合満足度	%	10.1 H23	50.0 R3	17.4 R3
	県庁通りの歩行者通行量	人/9h	4,236 H28	6,000 R3	3,963 R3
	県庁通り沿道店舗新規出店数	店舗	0 R1	5 R3	10 R3
	岡山城天守閣入場者数	人	327,551 H30	410,000 R5	— R5



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通面では、自転車走行空間を明確にしたことや駐輪場の整備、コミュニティサイクルの充実、街路樹の整備等により、自転車利用環境の向上と歩行者等の安全性の強化が図られた。</li> <li>まちづくり、観光の拠点となる岡山城の整備等を行ったことで、岡山城の魅力が向上し、賑わい創出、回遊性向上が図られた。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力・賑わいのある中心市街地の創出</li> <li>魅力・賑わいのある中心市街地の創出に向けて、都市機能や公共交通の利便性強化を図る。</li> <li>さらなる歩いて楽しいまちづくりの推進と地域特性を活かした自転車利用の推進</li> <li>歩いて楽しいまちづくりを推進するため、歩行者空間の向上や区域内の公園の魅力向上を図る。</li> <li>自転車の走行環境の整備やコミュニティサイクルの充実等を進める。</li> </ul>

岡山駅東口地区は、平成24年度に道路占用許可の特例制度の取り組みの計画としてスタートし、令和2年2月の第1回変更で事業を計画に追加して、令和2年度より都市再生整備計画事業を実施した。(計画期間: H24~R3 交付期間: R2~R3)